

公益財団法人 北海道移植医療推進財団

理事長 柴田 龍

副理事長 原田 浩

副理事長 嶋村 剛

## 「賛助会員入会」並びに「ご寄附」のお願い

謹啓 皆様にはいよいよご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は移植医療の推進につきまして、格別のご理解とご支援を賜り有難うございます。

ご承知の通り、昨年4月「北海道を移植医療の先進地域に！」の思いを一つにするため、「公益財団法人北海道腎臓バンク」と「認定特定非営利活動法人北海道移植医療推進協議会」が組織統合され、さらに一步前へと続くステージとして「北海道移植医療推進財団」がスタートしました。

従前より両組織にご支援ご協力頂いていました皆様方のご理解と賛同を得ることが出来、お陰様で平成29年度は順調に事業を進める事が出来ました。

特に道内各地域における講演会・市民公開講座・講習会等の開催においては、多くの方々の参加を得る事が出来ました。ここに改めてお礼申し上げる次第です。

当財団では、3つの委員会が中心となり全道的視野のもと企画立案し、4つの本支部(札幌・旭川・道東・道南)と調整の上事業を進めています。

具体的には、「医療関係者や医療機関の連携を深めるため」の移植医療委員会、「移植医療当事者の視点を生かすため」の移植者委員会、「臓器提供や移植医療に関する道民の理解を深め、普及活動や活動資金確保のため」の総務企画委員会です。広大な北海道をカバーするには本体制は必須のものであり、今後は日本臓器移植ネットワーク、北海道との連携強化を図るためにも効率的な運営体制の整備を図りたく考えています。

財団の運営資金は、基本財産運用収入、自治体補助、関係各位のご賛助による会費、ご寄附によることとされていますが、近年の金融・経済・財政の諸情勢から基本財産運用収入は見込めず、また自治体補助、賛助会費、寄附金収入も減少傾向にあります。

財団の事業内容につきましては、「平成29年度事業報告」並びに「平成30年度事業計画」を参照願えれば幸いです。

つきましては、当財団の諸事情をご賢察のうえ、賛助会員又はご寄附によるご支援、ご寄附によるご支援、ご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。 謹白